

## 「社会人の漢字の勉強」

(株) 萬乗醸造 十五代目 久野九平治

私は愛知県・名古屋の大高で日本酒を造っております、久野九平治と申します。

以前より中部電力さんのスタッフのみなさんには、私どものお酒を可愛がって頂いているご縁で、今回この執筆を依頼され、軽い気持ちでお受けしたところ、実際、日本酒しか造ったことのない私が「技術開発」というお題で、中電さんのお仕事に纏わるご提供できる「ネタ」が何もないぞ？と悩んでおりました。

しかし、その時、テレビの特集で日本の免疫学の大家で大学教授の先生が「理系の仕事をしている方は、シェークスピアを読みなさい」、「文系の仕事をしている方は相対性理論を学びなさい」と、おっしゃっているのを聞き、ならばこんなお話でも良いのではと、ペンを持っております。

それは「漢字の勉強」を今回はしていただくと思っております。この歳になると改めて漢字は良くできていることを社会人として経験の中から思い知らされております。

そう、「社会人の漢字の勉強」です。(紙とペンのご用意を)

では、早速、第一問目です。みなさん、「そんした!」「そん害保険」の「そん」という字を、まず書いてみて下さい。そう正解です。では「そん」の反対語は、社会人としてなんだと思いませんか。私は「もうける」だと思っております。会社は「もうけ」がないと、やっていけません。また私もそうですが、みなさんも自分の人生を「もうけた」く、ありませんか?

ここで第2問、「もうける」を書いてみて下さい。すんなり出てくるあなたは、偉い!ほとんどの日本人は「そん」は書けるけど「もうける」は書けないのです。さあ、分からないあなた、辞書で調べませんか?出てきましたか?「もうける」は、そう書くのです。

では次によくその字を眺めて頂けますか?二つに割れませんか?

ここから、社会人としてこの漢字の意味をひも解いていきたいと思えます。

そう「しんじゃ」と書いてあるのです。皆さん連想して下さい。「しんじゃ」につき物なのは何か?そう教祖さんです。「教祖?」では教祖さんに、なるためにはどうしたら、なれるのでしょうか?

私は真剣に考えました。なぜならその時、切羽詰っていたからです。寝ずに考えました。そうしたら、教祖になるために必要なことが3つ浮かんできたのです。

まず、信者さんを「裏切らないこと」そして、「奇跡を起こすこと」、最後に「予知」することが必要ではないかと私は思いました。そう!この3つが、兼ね備わっていれば、教祖になれるのではと。この3つを確実に自分のものにできたなら間違いなく、信者さんの数は増えるのではと。そして「信者さんは何かを教団に持ってきます」そうです「お布施」です。このお布施こそが、会社でいうと利益にあたると思いましたが。そしてこれが「もうける」という仕組みです。しかし間違えてはいけないことがあります。「お布施」はあくまで気持ちなのです。



決して強要して信者さん(消費者さん)から取るものではありません。「裏切らない」「奇跡」「予知」の積み重ねによりあくまで信者さん(消費者さん)の気持ちのバロメーターの問題なのです。それを強要・計算してしまうと、そこからが、悲劇の始まりで延いては事件など、世間を騒がせてしまいます。「もうける」という字を私はこんな解釈をし、自分の仕事に落とし込んでおります。私の仕事で「裏切らない」「奇跡」「予知」とは、どうゆうことかと?

みなさんも、各会社・各部門でお仕事に取り組みまれておりその中で一社会人として自分の人生を「もうけたい」はずです。そしてご自分のお仕事を通しもう一度「もうける」にはどうしたらよいのか?ということはこの漢字をもとにお考えいただくと、良いのではと勝手に思えます。

そして、少しでも「なるほど」と思って頂けたならみなさんは、「自分の人生を社会人として仕事を通し、もうけるぞ」という、未来像を持ったことになり、それは別の言い方をすると「ほうふ」をいただいたことになるのです。

ここで第3問です。「ほうふ」を漢字で書けますか?(調べて、調べて。分からなければ自分で調べる。すぐ調べるのが大事です。)

そうです。「まけ」を「いだく」と書きます。なぜ、輝かしい将来を語るのに「まけ」を「いだかなくては」ならないのか?社会人には、「まけ」ではないのです。「ふ」「マイナス」「リスク」と読んで下さい。そうです。マイナスやリスクをかかえてはじめて、将来を語る資格が出てくるのです。将来のほうふを達成するのに、最初から「プラス」はありえないよ。ということをお教えてくれているのです。「奇跡」や「予知」を習得するにもきつと修行が必要なはず。修行期間は当然報酬はありません。そして辛いものです。そういう「ふ」の期間を経て、「正」へ移行していくのです。会社の研究・開発と同じです。その間は「マイナス」と「リスク」の連続なはず。でも安心して下さい。修行を積むとだんだん「自信」が付いてきます。「自分を信じる」です。

そうここで第2問に戻って、「もうける」をもう一つ違う解釈をすると「信じる者」なのです。だれを信じるのか?答えは自分です。自分を信じられるようになるまで「ふ」を、いだいていって下さい。やがてそれは「自負」になっていきます。そして次に「信念」(念ずることを信じる)となり、やがて「理念」(念じたことがサトリに変わる)に、変わって行くのです。

(最後の漢字の勉強です)

「自分を運んで下さい」。「運がいい」の「運」は「はこぶ」と書きます。「来る」と書いて「うん」とは、いいません。もし運が向こうからやってくるものならば、「来」と書いて「うん」と読ませたはず。そして「いきおいよく運んで下さい」そうすると運勢がアップします。最後に「命がけで運んで下さい」。そうすると、今度は運命が変わります。